

三重県議会では、令和4年6月8日から、議場内の演壇で発言する際には、マスクを外すことも可能としました。演壇でのマスクの着脱は、それぞれの議員が判断しています。

代表質問

三重県河川整備戦略の見直しと河川整備計画の更なる推進について

日沖 正信 議員
(新政みえ / いなべ市・員弁郡選出)

問 近年、記録的な豪雨が各地で頻発しており、災害を防ぐために河川整備の更なる推進が求められています。県は、平成18年に15年間の計画として「三重県河川整備戦略」を策定し、計画的に河川整備を進めてきました。が、これまでの取り組みの検証も踏まえて、今後どのように取り組むのでしょうか。



答 また、「河川整備基本方針」に沿って具体的な河川整備の内容を定める「河川整備計画」について、現在の策定状況と今後についてお聞かせください。

県では、令和4年3月までに、流域のあらゆる関係者で取り組む「①流域治水プロジェクト」を、水系・圏域ごとに策定しました。今後は、このプロジェクトに基づき、ハード対策やソフト対策などを計画的に進めます。

また、河川整備計画については、県管理の全河川80水系のうち、27水系で策定を完了しており、残り53水系については、隣接する複数水系で一体的に策定することが可能となったことを踏まえ、その手法の活用を検討しながら早急に策定を進めます。

その他の質問事項
○令和5年度の行政運営について
○人口減少対策について ほか



▲代表質問 (日沖正信 議員)

平和教育・啓発について

小林 正人 議員
(自由民主党 / 鈴鹿市選出)

問 2022年2月に勃発したウクライナ戦争だけでなく、世界各地で紛争が続いていいます。このことを対岸の火事と思わずに、平和の尊さを今一度、個人が再認識し、恒久平和の追求につながるためには、平和教育を更に充実させる必要があると考えます。そこで、平和教育について、県ではどのように取り組んでいるのか、お聞かせください。

答 平和教育については、教育基本法に示される教育の理念の下、学習指導要領に基づいて行っており、平和の大切さや命の尊さを考え、社会の形成者として自覚と責任を持ち、行動できる力を養っています。



また、平和については、幸せな県民生活を送るための前提であると認識しており、平和維持のためには、戦争の記憶を風化させないことや、人と人とのきめ細かな交流を行うことが大切であると考えています。

その他の質問事項
○児童虐待と子育て世帯の養育者支援について
○多様な専門職・人材の確保と登用について ほか



▲代表質問 (小林正人 議員)

リニア中央新幹線三重県駅開業を活かした地域公共交通の活性化について

長田 隆尚 議員
(草莽 / 亀山市選出)

問 リニア中央新幹線三重県駅と県土に伸びる在来鉄道をうまく連携させることは、三重県駅の利便性、利用率を高める大切な要素です。県は、令和5年度に「三重県地域公共交通計画(仮称)」を策定する予定ですが、リニア中央新幹線三重県駅の開業を活かして、在来鉄道やバス等を含めた地域公共交通全体の活性化を図ることが重要だと考えます。地域公共交通の活性化について、知事の考えをお聞かせください。



答 人口が減少する中で公共交通を維持していくことは簡単なことではありません。「三重県地域公共交通計画(仮称)」は、地域公共交通の活性化を図るために、あらゆる取り組みを総動員したものにしていくと考えています。リニア中央新幹線と在来鉄道・バス等の両方が活性化するためには、駅位置や、その周辺開発をどうしていくかも大事であると考えますので、しっかりと検討を進めていきます。

その他の質問事項
○令和5年度当初予算調製方針について
○「強じんな美し国」ビジョンみえ」における「成長のコーリドー(回廊)」に込めた想いについて ほか



▲代表質問 (長田隆尚 議員)

JR関西本線(亀山)加茂間)の利便性向上を

稲森 稔尚 議員
(草の根運動いが / 伊賀市選出)

問 利便性向上による利用者の増加に向け、鉄道施設への倒木を防止するための伐採など、事前対策の強化により運休を減らすことや、廃止された「急行かすが」のように、名古屋と関西方面を結ぶ直通列車を事実実験として運行することを提案します。「よく止まる、不便な乗り物」とのイメージの刷新が必要だと考えますがいかがですか。

答 利便性の向上に向けた取り組みは、沿線自治体や住民の皆さんから、さまざまなご意見をいただいています。今後、「関西本線活性化利用促進三重県会議」の中で移動実態やニーズ、採算性なども含め検討を行い、JR西日本や沿線自治体等と調整を行った上で、実証事業など実現可能なものについて取り組んでいきます。



JR 関西本線 (柘植~新堂間)

その他の質問事項
○統一教会と県との接点について ほか



▲一般質問 (稲森稔尚 議員)

若者のチカラで地域防災力の向上をめざして

中瀬古初美 議員
(新政みえ / 松阪市選出)

問 県が5月に募集した「みえ学生防災啓発サポーター」養成講座について、みえ高校生県議会会で防災について質問された2校に話を伺いました。すると、「募集を知らなかった」「期末テストの時期で参加は難しい」「遠隔地であり参加のハードルが高い」といった声があがりました。どの地域からでも、環境に左右されることなく受講できる仕組みづくりが重要だと考えますが、いかがですか。



みえ学生防災啓発サポーター養成講座の様子

答 今回の養成講座の募集にあたっては、ホームページでの発信等と併せて、高等学校へは募集チラシを配付しました。今後開催する場合は、高等学校への周知に、より確実に期すとともに、開催場所・時期について、学校関係者等のご意見をしっかりと確認しながら進めていきます。

その他の質問事項
○一般県道蓮峽線バイパス工事現場の法面崩落について
○人口減少対策における南三重の連携について ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

地元住民の不安や不満の払拭こそが人口減少対策となる

青木 謙順 議員
(自由民主党 / 津市選出)

問 津市内に管理型最終処分場を設置する計画が公表されて以降、地元では土砂崩れ等の自然災害が発生した場合や、水道水源および農業等への影響を懸念する多くの声が寄せられるなど、根強い反対があります。産業廃棄物処理施設の設置、建設に対する地域住民の不安解消を図るため、県ではどのように取り組んでいるのかお聞かせください。

答 事業者から提出された環境影響評価書は、法書に対する知事意見では「地域住民等と十分なコミュニケーションを図る等、不安の払拭及び不満の解消を行うこと」などを求めています。今後の環境影響評価手続きにおいても、周辺環境への影響が十分に低減されることも、地域の皆さんの不安の払拭および不満の解消がなされているか注視し、真摯に対応するよう事業者に求めています。



建設反対

その他の質問事項
○魅力的な観光地づくりが人を呼び込み、移住を促進する
○林業人材の確保・育成のさらなる推進が持続可能な産業につながる



▲一般質問 (青木謙順 議員)